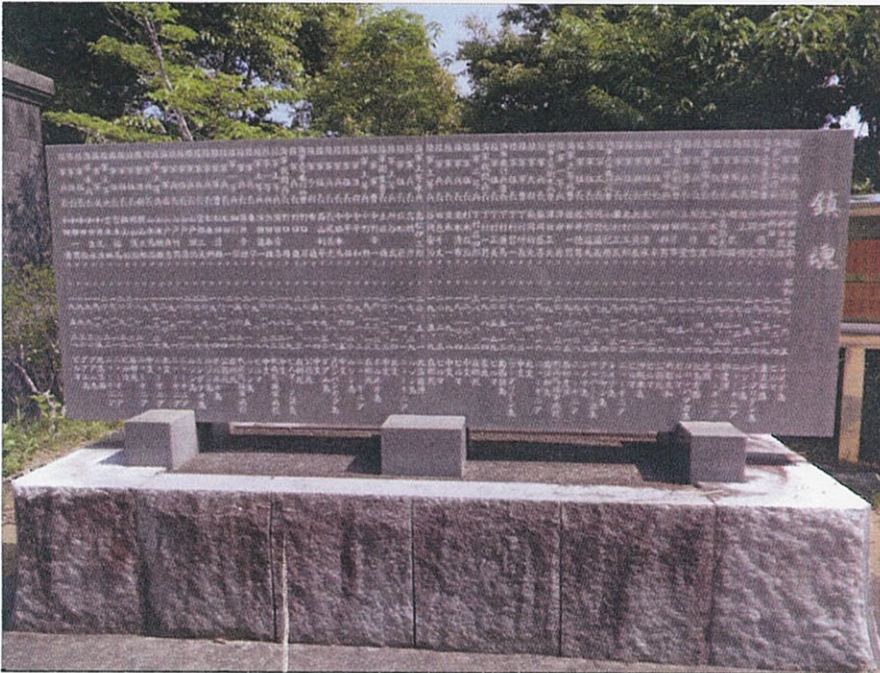




H26. 5. 29

山奈地区



H26. 5. 29

山奈地区



H26. 5. 29

山奈地区

碑誌

八十一柱の父よ、夫よ、兄よ、弟よ、  
 難局に際し、祖国の安全と繁栄を念じ  
 つつつかれし、いとし、家族との情を絶ち勇躍  
 征途につかれし、本分を精一杯盡されし  
 たが、今次大戦は、作戦可能の限度を  
 越えたのが、犠牲を多量に申しました  
 る如く、悲惨な結果に終わりました  
 この悲しみを私たちは一刻も忘れたこ  
 とはありませぬ。今次大戦の検証は、  
 後世の史家に委ねることとし、たまた  
 ま、心の救いは、東京裁判を執行した  
 マッカーサー米軍元帥が、「あの戦争  
 は、日本の自衛戦争であらう」と上院  
 で証言していること、東南アジア  
 植民地の解放に貢献したことであ  
 ります。  
 今日泰平の礎はあなたたちの身をも  
 て示した碧血と犠牲の上に成るを想  
 い、あやめ、追慕と追慕を新たに、世の  
 のちまで永く憶念のよすがとならんこ  
 とを願ってここに一碑を建てました。  
 平成十三年三月  
 戦没者山奈町選抜会一同  
 撰文 藤岡 浩  
 一丸 隆海 軍司 注 延 隆 宣